

ネイチャー・ウォーク

平成23年11月号
発行
(通巻第 号)

ECO SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

男たちの山と女たちの山と・・・

～日本の里・風布～

(東武東上線寄居駅 ～ 秩父鉄道波久礼駅)

昨年度、雨で中止になったこのコース！ 気持ちを新たに再挑戦です。

今回は、な、な、なんと!! 45名の参加者が集まりました。前日の新聞にイベントの告知が掲載された効果もあり、多くの方が参加してくださいました。

では早速、出発ッ!!



寄居駅を出発し、荒川にかかる橋の上から見えるこの景色(写真右)は「玉淀(たまよど)」と呼ばれる景勝地です。水のゆるやかに流れる様子を玉の色に見立て、「玉のように美しい水の淀み」だということから命名されたそうです。↓





かつて、その玉淀を形作る荒川に沿った崖上にかつて建っていたのが、本日一目的の目的地、「鉢形城」です。日本の 100 名城のひとつにも指定されています。スタッフの解説に耳をかたむけ、メモをとりながら、大自然に包まれた城郭をゆったり歩きました。



針形城を出て、風布に行く途中で寄った常光寺には、みなさんがびっくりするような神様が待っていました。

←全身朱塗りでひととき目立つ大黒天です。大きさは台座も含めて 2m 以上はあるかと。雰囲気溢れる渋い山門や、落ち着いた雰囲気の本堂とは対象的な大黒天の姿に、みなさんから驚きの声が挙がっていました。

歩みを進めていくと、こんな景色を多く発見。「おいしそう」「いいなあ」という声が飛び交っていました。→



↑ 連なって干されている柿（左）と大根（右）



寄居の市街地から西に峠を越えると、「にほんの里 100 選」にも選ばれた「風布」地区があります。温暖な気候で行われるミカン栽培は 400 年を越す歴史があるそうです。

風布で、お弁当とおいしいミカンを食べて、歩きつかれた体をリフレッシュ！ 足取り軽くゴールへと向かいます。

風布館の近くにある「姥宮神社」は、樹齢 400 年の杉の神木にお願いすると、願いが叶うそうです。ここでは狛犬ではなく、蛙が出迎えてくれます。みなさん、興味津々でした。→



←ドウダンツツジがきれいに紅葉していました。



流れる川に沿って、森の中へ、そして川を渡り…波久礼駅に向かってハイキングコースの「風の道」を歩いていきます。川を渡る時は、みんなで声をかけながら慎重に渡りました。→



←途中、まるで天狗の様にそびえていることからその名が付いた「天狗岩」に出会いました。奇怪な姿と、その大きさに圧倒されました。

約 11 km のコースを歩き、無事にゴールの波久礼駅に到着です。

みなさん、お疲れさまでした。

